

| コード | 名称 | 区分 | コード | 名称 |
|-------------|----------------------|-------------|------------------------|----------------|
| 事業名 | 790 旧小田小学校本館維持管理経費 | 会計 | 01 | 一般会計 |
| | | 款 | 10 | 教育費 |
| | | 項 | 05 | 社会教育費 |
| 基本 施策 | 36 歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ | 目 | 02 | 文化財保護費 |
| | | 細目 | 432 | 文化財施設維持管理事業 |
| 行革大綱の重点事項番号 | | 細々目 | 52 | 旧小田小学校本館維持管理経費 |
| 担当部課 | コード | 450400 | | 担当者 氏名 |
| | 名称 | 教育委員会 生涯学習課 | | |
| | | 連絡先 | 22 - 9681 (内線) 3840 | |

事務事業の概要(Plan)

| | | |
|-----------------|--|-------|
| 対象(誰を、何を) | 県指定有形文化財(建造物)旧小田小学校本館 ・市民や観光客 | ※対象件数 |
| 成果(どうする) | ・適正に管理され、保存される。 ・生涯学習に役立つ。 | |
| 根拠法令・要綱等 | 文化財保護法・旧小田小学校の設置及び管理に関する条例 | |
| 開始年度 | 平成 年度 | 関連事業 |
| 終了年度 | 平成 年度 | |
| H21 事業 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業を行なう。(学校のたからもの展・体験授業) ・利用料金の徴収を行なう。 ・保守点検(清掃・消防設備・機械設備・空調機器・植栽管理等)を行なう。 ・修繕を行なう。 | |
| 社会情勢 の変化等 | 利用者を増やすために、新たな事業を行なった。 | |

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

| | |
|------------------|----|
| 1 建設用地 | |
| 2 建設面積 (延床面積) | |
| 3 規模・構造 | |
| 4 総事業費 | 千円 |

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

| | |
|---------------|-----------|
| 1 運営主体 | |
| 委託先 | 伊賀市文化都市協会 |
| 2 配置人員 | 1.0 人 |
| 3 年間運営費 | 3,913 千円 |
| 4 市内の 類似施設 | |

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

| 活動 指標 | 指標名 | 単位 | 実績値 | | 目標値 | |
|------------|-----|----|-----|-----|-----|-----|
| | | | H20 | H21 | H22 | H23 |
| 開館日数 | | 日 | 目標 | 359 | 目標 | 359 |
| | | | 実績 | 359 | 実績 | 359 |
| 企画展などの自主事業 | | 回 | 目標 | 2 | 目標 | 2 |
| | | | 実績 | 2 | 実績 | 3 |

| 成果 指標 | 指標名 | 指標設定の考え方 | 単位 | 実績値 | | 目標値 | |
|-----------|-----|------------------------------------|----|-----|------|-----|------|
| | | | | H20 | H21 | H22 | H23 |
| 利用者数・参観者数 | | 施設の特徴を生かした事業を実施し、市民や観光客に足を運んでもらうか。 | 人 | 目標 | 2000 | 目標 | 2000 |
| | | | | 実績 | 1391 | 実績 | 2345 |
| | | | | 目標 | | 目標 | |
| | | | | 実績 | | 実績 | |

| 投入 コスト | H20 決算 | | H21 決算 | | H22 当初予算 | | H23 当初要求 | |
|----------------------------|--------|-------|--------|-------|----------|------|----------|-----|
| | (千円) | (千円) | (千円) | (千円) | (千円) | (千円) | (千円) | |
| 直接事業費計(A) | 4,006 | 4,149 | 4,204 | 4,101 | | | | |
| A の 財 源 内 訳 | 国庫支出金 | | | | | | | |
| | 県支出金 | | | | | | | |
| | 地方債 | | | | | | | |
| | その他 | 0 | 0 | | | | | |
| 一般財源 | 4,006 | 4,149 | 4,204 | 4,101 | | | | |
| 事業投入人件費(B) | 0.1 人 | 720 | 0.1 人 | 720 | 0.1 人 | 720 | 0.1 人 | 720 |
| フルコスト(A)+(B) | 4,726 | 4,869 | 4,924 | 4,821 | | | | |

事務事業の評価(Check)

| 判断の基準(該当項目に○をつけてください) | | 備考欄(特記事項) | |
|---|---|---|------------------------------|
| 必 要 性 | 法律で実施が義務付けられている事業 | | |
| | 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業 | | |
| | 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業 | | |
| | 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事務事業 | | |
| 個人のみでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業 | | | |
| 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業 | ○ | 明治期の学校建築の一例を示す文化財として貴重なものであり、適正な修理工事も実施できた。 | |
| 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業 | | | |
| 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対称者以外の第三者にも利益が及ぶ事業 | | | |
| 国や県、民間が同様のサービスを提供している。 | ○ | | |
| 事業開始からの目標・目的を概ね達成している。 | | | |
| 事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない。 | | | |
| 【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】 | | | |
| 財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響は大きい。 | | | |
| 【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】 | | | |
| 有効性 | 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高 サービス水準や対象を見直す余地がある。 | ○ | 元の学校施設であるという特性を生かした企画展を実施した。 |
| 達成度 | 当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】 | | |
| 効率性 | 他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。 | ○ | 入館者より対価を徴収している。 |

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

| | |
|--------------|--|
| 改善策 | 来訪者が満足する企画の実施を行なっていく。 |
| 昨年度の 取組状況 | 【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 音楽教育にテーマを定めた企画展示を実施し、関連する事業の開催に際しては多数の来館者を得ることができた。 |

今後の方向性(Action)

| | |
|--------------------------------------|------------------------------|
| 評価者氏名 (担当課長) | 楨田 ちえみ |
| 【方向性】 | 現状維持 |
| 【理由】 | 指定管理者による、文化財の特徴を活かした自主事業を行う。 |
| 現時点における 課題、その他 | 駐車場が狭い。 |
| 課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする) | 平成22年度から駐車場用地を借上げ、参観者の利便を図る。 |